

4～5さい

4～5歳になると、興味対象もぐんと広がり好みもはっきりしてきます。また、想像力が発達し物語の主人公になりきって絵本の世界を楽しめるようにもなります。ストーリーのしっかりした物語絵本はもちろん昔話など、子どもたちの興味に合わせて絵本を選んであげたいですね。



11ぴきのねこ

馬場 のぼる／著
こくま社

いつもおなかぺこぺこの11ぴきのねこたち。湖に大きな魚がいると聞き、さっそく出かけて行きます。大格闘の末、やっと捕まえた大きな魚。みんなに見せるまでは食べないと約束するのですが…



おばけのてんぷら

せな けいこ／作・絵
ポプラ社

うさこちゃんが、てんぷらを揚げていると、いいにおいに誘われて、山のおばけがやってきましたよ。おやおや、うさこちゃんおばけもてんぷらにしちゃうの!? くいしんぼうで、ちょっとおっちょこちょいなうさこちゃん。子どもたちに大人気の絵本です。



あさえとちいさいもうと

筒井 頼子／著
林 明子／え
福音館書店

お留守番を頼まれたあさえ、お昼寝をしていた妹の目が覚め、あさえが面倒をみることになります。しかし、あさえがちょっと目をはなしたすきに妹は…



おまえうまそうだな

宮西 達也／作・絵
ポプラ社

お腹をすかせたティラノサウルスが、ひとりぼっちでいるアンキロサウルスの赤ちゃんを見つけました。「おまえうまそうだな」と近付くと、「おとうさーん!」としがみついてきて…お父さんに間違えられた大きな恐竜と赤ちゃん恐竜の愛情物語です。



いそがしいよる

さとう わきこ／さく・え
福音館書店

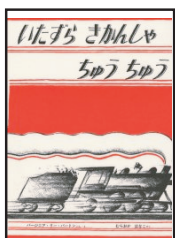
夜空がとってもきれいだから、お外で寝ようと決めたらばあちゃん。でも、これがあるととっても素敵! ベットに毛布、お茶にテーブル…あれ? 家中のものをぜーんぶ出しちゃった!? 愉快なばあちゃんのお話。大人気のシリーズです。



おまたせクッキー

パット・ハッチンス／さく
乾 侑美子／やく
偕成社

おやつクッキーを食べようとすると、玄関のベルがピン・ポーンと鳴り、友だちがやってきます。どんどん増える友だちと、どんどん減るクッキー。友だちがやってくるくりかえしが楽しいお話です。



いたずらきかんしゃちゅうちゅう

バージニア・リー・バートン／ぶん・え
むらおか はなこ／やく
福音館書店

この絵本は、のりもの絵本定番の本です。中の絵は白黒で、きかんしゃの存在感やスピードを感じることができず。のりもの好きの子どもはもちろん、大人もいっしょに絵を味わいながら読んでほしい一冊です。



かいじゅうたちのいるところ

モーリス・センダック／さく
じんぐう てるお／やく
富山房

いたずら好きのマックスはある晩、おおかみのぬいぐるみを着ておおあばれ。とうとうお母さんに叱られて寝室にほうりこまれます。すると、寝室にいきりよきりと木がはえだして…



からすのパンやさん

かこ さとし／絵と文
偕成社

きょうりゅうパン・じどうしゃパン・うさぎパンにてんぐパン、からすの子どもたちも手伝って作ったパンはどれも美味しそう。見開きいっぱいに描かれたパンは子どもたちをひきつけます。



すてきな三にんぐみ

トミー・ウングレー／さく
いまえ よしとも／やく
偕成社

黒いマントに黒いぼうしをかぶった、こわい泥棒3人組。今夜も金銀財宝を狙って馬車を襲います。しかし乗っていたのは、女の子のティファニーちゃんだけ。ティファニーちゃんとの出会いで泥棒たちの生活は変わっていった…



ぐりとぐらのおきやくさま

中川 李枝子／さく
山脇 百合子／え
福音館書店

おなじみ「ぐりとぐら」のお話です。雪合戦をしていたぐりとぐらは、大きな足跡を見つけ、たどっていくとそこは自分たちの家でした。おきやくさまはだれ!? シンプルなストーリーが子どもたちのワクワク感をかりたてます。



だいくとおにろく

松居 直／再話
赤羽 末吉／画
福音館書店

あるところに、流れが速すぎてすぐに橋が壊れてしまう川がありました。何とか橋をかけたい大工。すると、川の中から鬼があらわれ、「おまえの目玉をよこせば橋をかけてやる」と言って…



くれよんのくろくん

なかや みわ／さく・え
童心社

新品のクレヨン達が、真っ白の画用紙にお絵かきを始めました。でも、クレヨンのくろくんだけは、仲間に入れてもらえません。さみしそうなくろくにシャープペンのお兄さんがいいことを教えてくれて…



たるまちゃんとてんぐちゃん

加古 里子／さく・え
福音館書店

想像力や探究心が発達してくるこの時期、友達の持っているものが欲しくなったり、まねっこしたくなったり。たるまちゃんもてんぐちゃんの素敵なお持ち物が羨ましくてお父さんにおねだりします。



こんとあき

林 明子／さく
福音館書店

こんはおばあちゃんが作ってくれたきつねのぬいぐるみ。あきが赤ちゃんの時からずっと一緒です。ところが、ある日この腕がやぶれてしまって…おばあちゃんの住むさきゅうまちまで、こんとあきのはらはらドキドキ二人旅。



どうぞのいす

香山 美子／作
柿本 幸造／絵
ひさかたチャイルド

うさぎさんが小さいいすをつくりました。そしてその横に、「どうぞのいす」という看板をたてました。次々にやってくる森の動物たち。「どうぞということならえんりょなく。でもそれじゃあ、次の人におきのどく」かわいい勘違いから生まれる、優しいっぱいのストーリー。



しりとりのだいすきなおうさま

中村 翔子／作
はた こうしろう／絵
鈴木出版

ことばの意味がわかり、ことば遊びができるようになるこの年齢の子どもたちには、しりとりのあそびで言葉の面白さを知ることができます。



にじいろのさかな

マーカス・フィスター／作
谷川 俊太郎／訳
講談社

お気に入りのものは特に、独り占めしたいもの。でも、お友達と一緒に楽しむほうが何倍も楽しい。幸せや喜びをみんなで分かち合うことの大切さを教えてくれる一冊です。



しんせつなともだち

方 軼羣／作
君島 久子／訳
村山 知義／画
福音館書店

冬の寒い夜、こうさが食べ物を探しに出かけました。かぶを2つ見つけたので、一つ自分で食べました。きっとお友達も食べ物がなくて困っているだろうと思ったこうさは、もう一つのかぶをロバさんの所に持って行ってあげることに…



はじめてのおつかい

筒井 頼子／さく
林 明子／え
福音館書店

「みいちゃん、ひとりで おつかい できるかしら」妹のお世話で忙しいお母さんに、牛乳を買ってきてと頼まれたみいちゃん。お店までの道のりやお店でのみいちゃんのときどき感が伝わってきます。弟や妹が生まれたばかりのお子さん、これからおつかいをする子どもたちへ。